

# よこすか E C O 通信



第14号(平成26年9月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 小学生のエコ活動

夏の間、みなさんはどういったエコ活動に取り組みましたか？エアコンの設定温度に気をつけたり、日よけを上手に使ったり、打ち水をしたり、家や職場などで種々の工夫をされたのではないのでしょうか。

横須賀市内では、小学生も各学校で色々な環境活動をしています。リサイクルプラザの見学をしたり、地域の川や学校ビオトープの観察をしたり、委員会で緑のカーテンづくりに挑戦したり、ゲストティーチャーを呼んで環境のことを学んだり…。今回はその中でも、「夏休みエコチャレンジポイント」を紹介したいと思います。

## 節電・省エネにチャレンジ！

7～9月の夏場は、電力が多く使われるため、無理と無駄のない節電が呼びかけられています。「夏休みエコチャレンジポイント」は、この期間に節電や省エネに取り組む学校を募集し、小学生にも節電に挑戦してもらうきっかけとして、平成24年度から始めました。このエコチャレンジでは、がんばりに対して「プレゼント」があります。どのくらい取り組めたかをポイント化し、ポイントに応じて、学校が希望するものを贈っています。初年度は2校、平成25年度は3校、そして今年度は、追浜小・池上小・高坂小・野比東小・長井小の5校がチャレンジしています。

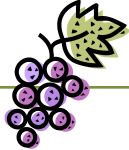
照明をこまめに消したり、冷房の設定温度に気をつけたり、各学校で節電や省エネに取り組めます。それに加え、夏休みには、小学生たちが自分の家でも節電や省エネにチャレンジします。家でできる工夫を自分で考え、実行する、このエコチャレンジポイントの体験を活かして、これからも自発的に環境にやさしい生活ができるようになるといいですね。また、家庭でどんなことができるか、家族と話し合いながら進めることで、家族みんながエコ活動に取り組むきっかけにもなります。

みんなのがんばりは「プレゼント」として、学校に返ってきます。これまでに、運動会で使う大玉や、音楽の授業で使うCDなどを贈っています。昨年度参加した望洋小学校には、LEDの照明を贈りました。小学生のエコな活動が、また学校のエコにつながりましたね！

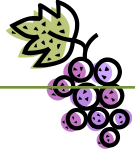


小学生もがんばっています！

裏面には季節の生き物図鑑「鳴く虫」の掲載があります。



# 秋の環境学習講座などのお知らせ



## 横須賀市自然・人文博物館

### 「ポスター展示による市民の自然誌研究2014」

日 時 11月1日(土)から11月3日(祝) 9:30~16:30

(11月3日(祝) 14:00~16:00に口頭発表)

場 所 横須賀市自然・人文博物館 講堂ほか

\*発表申し込みは、10月1日(水)まで

### 博物館教室「三浦半島の自然誌」

日 時 11月6日・13日(地球科学)、20日・27日(魚類)、  
12月4日・11日(昆虫)、18日・25日(植物)  
10:00~12:00 〔毎木曜・全8回〕

場 所 横須賀市自然・人文博物館 講堂

定 員 30名

締 切 10月23日(木)

申 込 往復はがきで、往信面に行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号、復信宛名面に  
ご自分の住所・氏名を記入し、博物館へ。

応募者多数の場合は市内在住者を優先。

問合先 横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 横須賀市深田台95  
電話824-3688



## 西コミュニティセンター

### 「子どもと大人の星空教室」

日 時 11月29日(土) ①9:50~11:20、②10:30~12:00、  
③13:20~14:50、④14:00~15:30

(①~③は小学生、④は一般(中学生以上))

場 所 西コミュニティセンター 集会室

講 師 かわい じゅんこ さん(プラネタリウム)

コミュニティセンター職員(ワークショップ)

内 容 移動式プラネタリウムを用いた星空観察と地球外生命体のイラストを描くワークショップ

定 員 各回25名(定員を超えた場合は抽選)

締 切 11月12日(水) 必着

申 込 希望者は、講座名・住所・氏名・学年・電話番号・小学生は希望回(第2希望まで明記)を記載して、往復はがき・FAX・メール・窓口(返信用はがきを持参)のいずれかで問合せ先へ。

問合先 西コミュニティセンター  
〒240-0101 横須賀市長坂1-2-2  
電話/FAX 857-0896  
E-mail niph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 三浦半島「自然ふれあい楽校」 オートムフェスタ

### プログラム

- ①「めぐりの森の草木染め体験教室」11月22日(土)  
10:20~14:20 20名(小学生以上)
- ②「秋の夜の野原と星空観察会」11月22日(土)  
16:30~18:30 20名(こども・おとな)
- ③「前田川~秋の完全踏破~」11月23日(日)  
9:30~15:00 20名(小学4年生以上) \*バス停前田橋集合
- ④「めぐりの森の自然ふれあいコンサート」11月24日(祝)  
13:30~15:30 30名(小学生以上)

場 所 湘南国際村めぐりの森、自然ふれあい広場

費 用 ①1,000円、②③500円、④1,000円・小中高校生500円

受 付 11月1日(土)~20日(木) \*定員を超えた場合は抽選

申 込 〒・住所・氏名・年齢・電話/FAX番号・希望プログラムを、  
往復はがき・FAX・メールのいずれかで問合せ先へ。

問合先 三浦半島「自然ふれあい楽校」  
〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2 野崎方  
電話/FAX 857-8636  
E-mail miurafureai@gmail.com  
HP <http://megurinomori.net/index.html>



## 市民大学後期講座(全25講座)

### 「地球環境変動研究の最前線」

【独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)協力講座】

日 時 11月10日、17日、12月1日、8日、15日、  
平成27年1月19日 13:30~15:30 〔月曜日・全6回〕

場 所 生涯学習センター(まなびかん・ウェルシティ内)

講 師 独立行政法人海洋研究開発機構 職員

内 容 地球環境変動の把握と予測に関する研究の紹介

定 員 80名

受講料 3,060円

締 切 9月24日(水) 20時

申 込 ハガキ、電話、インターネット、来館のいずれか

問合先 生涯学習センター 電話046-822-4873

〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

他の講座や詳細は市民大学募集要領または生涯学習センターHP(<http://manabikan.net/>)をご覧ください。

## よこすか自然発見 ~アライグマ・タイワンリスを探そう~

日 時 11月22日(土) 9:30~12:30 \*小雨決行

場 所 衣笠山公園 \*集合はまゆう会館(衣笠栄町1-47)

内 容 アライグマやタイワンリスの生態などのお話の後、専門  
家と一緒に公園内の被害現場を観察します(約2Km)。

対 象 小学5年生以上(小学生は保護者同伴)

定 員 抽選20名

締 切 10月31日(金) 必着

申 込 〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・人数を、  
電話・はがき・FAX・メールのいずれかで問合せ先へ。

問合先 横須賀市自然環境共生課

〒238-8550 横須賀市小川町11

電話822-8528、FAX821-1523

E-mail ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp



## 横須賀市地球温暖化対策地域協議会 よこすか節電チャレンジ

今夏、ご家庭で節電に取り組み、電気使用量が前年同月を超えなかった方の中から、抽選で50名様にLED電球をプレゼント!

対象期間 平成26年7月、8月、9月(3ヶ月間)

応募口数 1ヵ月分1口とし、1世帯につき3ヵ月分(3口)まで

締 切 10月15日(水)

応募方法 各月の「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)の写しに  
「電話番号」、「世帯人数」を明記の上、協議会事務局  
(横須賀市環境企画課内)へ持参または郵送。詳しくは  
協議会HP(<http://ecoyoko.com/>)をご覧ください。

問合先 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局(環境企画課内)  
〒238-8550 横須賀市小川町11 電話822-8524

## 環境学習リーダー養成講座(神奈川県)

環境活動を地域に広める指導者になりませんか?只今受講生募集中。

日 時 10月4日~11月15日〔毎土曜・全7回〕  
10:00~16:00 \*初日9:40~

場 所 神奈川県環境科学センター(平塚市四之宮1-3-39)他

内 容 環境に関する専門分野の講師による講義やワークショッ  
プの手法、学習プログラムの体験、施設見学など  
\*8割以上出席の方には、修了書を授与します。

締 切 9月22日(月) 必着

申 込 HPの応募フォーム又はハガキ

詳しくは下記環境学センターHPをご覧ください。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/learning/event/event.html>

問合先 神奈川県環境科学センター環境活動推進課環境学習担当

〒254-0014 平塚市四之宮1-3-39

電話0463-24-3311(内線417)



表紙で紹介した「夏休みエコチャレンジポイント」の詳しい取り組み内容をはじめ、その他、市内でもたちが取り組むエコ活動を、節電、省エネを中心ご紹介します。

## 夏休みエコチャレンジポイント

参加した学校はどんな工夫をしていたのでしょうか？冷房の使い方などの全体での工夫や、電気を消すといった一人ひとりのこまめな活動など様々です。過去の参加校の取り組みからピックアップしました。

### 【学校で】

- ・緑のカーテンをつくる（冷房の節約に）。
- ・教室に温度計・湿度計を設置する。
- ・照明をこまめに消す。
- ・扇風機を使って教室内の温度を均一にする。
- ・「エコチャレンジ実施中」と掲示する。
- ・室内外、色々な場所で温度を測って比べる。

### 【家庭で】

- ・人がいない部屋の電気を消す。
- ・買い物にエコバックを持っていく。
- ・明るいうちに宿題をする。
- ・切れた電球はLEDに換える。
- ・家族が一つの部屋に集まって、ご飯を食べたりテレビを見たりする。

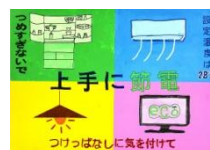


### 節電コンクール

横須賀市地球温暖化対策地域協議会主催の小・中学生を対象にしたアイデアコンクール。「冷蔵庫に物を詰めすぎない」、「広い部屋は仕切って冷房をつける」、「寝るときはアイスノンで涼しく」など、子どもたちの工夫がいっぱいです。

### 環境ポスターコンクール（節電部門）

小・中学生が環境をテーマに描く絵画コンクール。全体の他に、「節電部門」が設けられ、特に優れた作品は「節電特別賞」として表彰されます。意識の高さが感じられる作品ばかりです。



過去の節電特別賞の作品  
(左から平成24年度、25年度、23年度)

### 夏休み子ども環境体験教室

上記協議会主催で8月20日に実施。22名の小学生が参加しました。温暖化について勉強した後、ソーラーランタンづくりに取り組みました。最後に温暖化防止のために「今日からすること」を宣言！10月15日（水）には秋休み編を開催予定。

### 番外 学校の先生たちも活躍！

#### 【7月23日 望洋小学校ピオトープ作業】

望洋小学校では校内の学校ピオトープを使って、毎年3年生が自然観察の授業を行っています。そのピオトープも大分植物が茂ってきたので、この日は先生たちで丈の高い植物の草刈りや特定外来種オオアサモの除去など、整備作業が行われました。作業後のピオトープは見違えるようになり、これからたくさんの生き物がやってきそうです。



#### 【8月12日

#### 環境学習講座「田んぼの自然観察会」】

横須賀市環境企画課と教育委員会の連携研修として、学校教員向けの環境学習講座を行いました。当日は市立小・中学校の先生16名が参加。自然環境として田んぼの役割などを学び、沢山池の里山（市内長坂）の自然を視察しました。街中にはない自然の中で、新しい発見もあったのではないかと思います。

## イベント報告

第13号でご紹介した「三浦半島自然ふれあい楽校サマースクール」で実施されたフォーラムを報告します。

### 第3回三浦半島森づくりフォーラム(三浦半島自然ふれあい楽校サマースクール2014)

～生物多様性についてみんなで考えました～

日時:7月19日(土)13:30～16:00 場所:湘南国際村センター

毎年行われている三浦半島自然ふれあい楽校のサマースクール。その第1日目に「森づくりフォーラム」が開催されました。今年のテーマは「外来種」と「生物多様性」です。

冒頭は自然ふれあい楽校事務局長である天白牧夫氏から、めぐりの森の外来種の現状報告がありました。続いて、(公財)日本生態系協会の城戸基秀氏から「市民が守る生物多様性」の講演がありました。まだまだ知名度の低い「生物多様性」のわかりやすい解説とともに、たくさんの取組事例が紹介されました。地域で生物多様性を守っていくためには、市民・企業・行政などの種々の主体が、互いに協力し、役割分担をして頑張る必要があるということでした。

講演の後にはテーマをめぐって、会場内で活発な質疑・意見交換がされました。参加された皆さんにとって、とても有意義な時間になったのではないのでしょうか。







昆虫のなかまで「鳴く虫」として知られているものは、セミとバッタの2つのグループに大別できます。カミキリムシや一部のガなども鳴き声を発しますが、オスがメスへの求愛として鳴き声を発するのはセミとバッタに限られます。

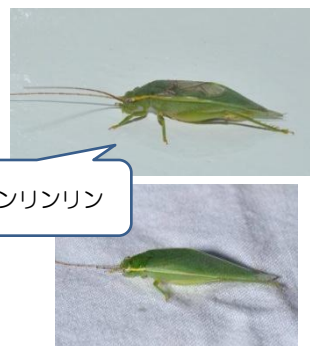
セミのなかまは主に夏に鳴きます。横須賀市には6種が知られ、7月初旬には鳴き始めるニイニイゼミのほか、梅雨明け近くから鳴き始めるミンミンゼミ、アブラゼミ、クマゼミ（最近では横須賀市でも聞くことができます）、ヒグラシ、そしてお盆近くから鳴き始めるツクツクボウシがいますが、いずれも9月になると徐々に聞こえなくなります。

バッタのなかまはセミに比べると多様で、バッタ・イナゴのなかまとキリギリス・コオロギのなかまに分けられます。この2つのグループでは鳴くしくみも違って、バッタ・イナゴのなかまでは、翅をたたんだままで前翅の表面を後ろ足でこすって音を出し、キリギリス・コオロギのなかまでは、左右の前翅をこすり合わせて音を出します（スズムシの鳴き方が代表的です）。鳴く季節の違いもセミより幅広く、種によって初夏から秋までの間の様々な時期に鳴きます。

「あれ松虫が鳴いている〜♪」で始まる唱歌『虫のこえ』には、秋に聞こえるマツムシ、スズムシ、コオロギ（当初の歌詞は「キリギリス」だったそうです）、クツワムシ、ウマオイの5種が登場します。下に横須賀市で秋に聞こえる鳴く虫主な5種を紹介します。

**アオマツムシ** 体長約3 cmで鮮やかな緑色をしています。中国原産の外来種で、市内各地で聞くことができます。「リンリンリンリン・・・」と騒がしく鳴くのが特徴です。

＜図1：アオマツムシ（上：オス、下：メス）＞



リンリンリンリン

図1：アオマツムシ オス(上)、メス(下)

**ホシササキリ** 体長約2 cmで一見イナゴのようにも見えます。公園の草地などで「ジー・ジー・・・」または「ジリジリジリ・・・」と低い声で鳴きます。昼間も鳴きます。

＜図2：ホシササキリのオス＞

**ハヤシノウマオイ** 体長約4.5 cmで頭から背中にかけて茶色いのが特徴です。「スィーッチョン」と鳴きます。見た目で区別が難しい、よく似たハタケノウマオイは「シッコ・シッコ・・・」と鳴き、声で区別がつきます。

＜図3：ハヤシノウマオイのオス＞

**カネタタキ** 体長約1 cmで、オスはとても短い翅で「チン・チン・・・」と小さく鳴きます。雑木林などの樹上で暮らします。メスには翅がありません。

＜図4：カネタタキのオス＞

**エンマコオロギ** 体長約4 cmの代表的なコオロギです。草地で「コロコロリー」と鳴きます。市内には他にも2cmくらいの大きさのコオロギが数種知られています。

＜図5：エンマコオロギのオス＞



図2：ホシササキリ(オス)



図3：ハヤシノウマオイ(オス)



図4：カネタタキ(オス)



図5：エンマコオロギ(オス)

(横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員)

## みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館

(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。